



福祉住環境コーディネーター検定講座

衣笠

安全で快適な住環境をコーディネートする注目の資格。

わが国は、2020年には国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となる「超高齢化社会」を迎えると予想されています。政府は現在3%に留まっているバリアフリー化の住宅を2015年までにリフォームを含め全体の4割まで引き上げること为目标に施策を進めており、介護保険制度の導入とあわせてバリアフリー住宅の推進やユニバーサルデザインなど、福祉と住宅の連携をはかる動きが急速に進みつつあります。

このような中で、福祉・医療・保健面や住宅改修・福祉用具といった各種の知識をもち、専門家と連携をとりながら安全で快適な住環境をコーディネートする人材の必要性が高まっています。

講座の概要

本講座は、2級検定試験合格をめざす講座として開講します。

スケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
衣笠							2級対策コース			8月下旬~11月上旬			

試験のあらまし

福祉住環境コーディネーター検定試験	
各級の基準	1級:3級・2級で得た知識をもとに、新築や住宅改修の具体的なプランニングができ、さらに安全で快適なまちづくりへの参画など、幅広い活動ができる。 2級:3級で得た福祉と住環境の知識を実務に活かすために、より幅広く確実な知識を身につけます。また、各専門職と連携して具体的な解決策を提案できる能力を求めます。 3級:福祉と住環境の関連分野の基礎的な知識を理解している。
試験日	1 級:年1回 / 1次...9月上旬・2次...11月下旬 2・3級:年2回 / 7月上旬、11月下旬

試験データ

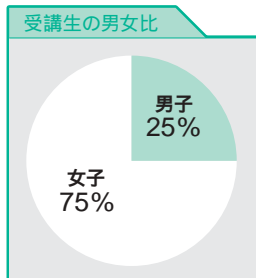
2006年秋期 2級	受験者数	27,815人
	合格者数	16,133人
	合格率	58.0%

受講生データ

合格率(2級)秋期(衣笠)	
合格者(人数)	合格者(%)
18	72.0

受講生の進路
(株)INAX、(株)大塚家具、京都市、キリンビール(株)、(株)コムスン、(株)滋賀銀行、住友林業(株)、積水ハウス(株)、東陶機器(株)、独立行政法人 労働者健康福祉機構、トステム(株)、(株)ニチ学館、(株)ハートウェル、(株)良品計画

学部別受講生	衣笠	%
経営学部	1	3.1
産業社会学部	25	78.1
政策科学部	2	6.3
文学部	2	6.3
理工学部	1	3.1
大学院	1	3.1
合計	32	100.0



回生別受講生	合計 / 32人
1回生	9人 28.1%
2回生	18人 56.3%
3回生	3人 9.4%
4回生	1人 3.1%
院生	1人 3.1%

合格者からのメッセージ

私がこの講座の受講を決めたのは、家族の役に立てられるような知識を身につけたいということが一番大きかったと思います。講座では、今まで知らなかったことを多く学び、いつも新鮮な気持ちで楽しく受講できました。また受講後、膝の悪い祖母のために段差解消などの自分のできるバリアフリーを実践し、祖母はとても喜んでくれました。

この講座の受講がきっかけで、以前より福祉への興味が広がったと思います。私は大学院進学を希望していますが、今後は講座で学んだ事を活かしてより多くの視点で研究テーマを決めていきたいと思っています。

2006年度福祉住環境コーディネーター養成講座受講
福祉住環境コーディネーター検定試験2級合格
中村みゆきさん(文学部3回生)

担当講師からのメッセージ

現在すでに65歳以上の高齢者の人口比率が20%を超えた日本は、2050年には35%以上が高齢者という時代がやって来ると言われています。身の回りを見ても高齢者が多くなっていることを実感できますね。また、障害を持って持たなくても誰もが暮らしやすい未来のために今、必要なことを学びましょう。

この講座では『暮らしやすい住まいや街』を提案しコーディネートもできるように、基本的な知識や、住宅のリフォームの実例や応用の効く実務的な内容も含めて幅広い知識と実践力を身につけます。

また、医療や福祉と合わせて住環境の知識も学ぶため、建築やインテリア関連への進路も開けます。この検定を通して学んだ知識を生かし、将来のビジョンを描き活躍してみませんか。

ヒューマンアカデミー 篠村文夫 講師